

戦争法案反対！！

国会 10 万人・全国 100 万人大行動



8月30日、安保法制（戦争法案）に反対する取り組みが全国的に展開されました。国会前には12万人、全国では、北海道、青森、秋田、山形、茨城、埼玉、静岡、愛知、三重、新潟、石川、大阪、広島、徳島、長崎、熊本、沖縄で数十万人の参加者がありました。

大阪では、午後4時から、「戦争法案を廃案に！アベ政治を許さない！8・30おおさか大集会」が北区の扇町公園で開かれました。集会後、参加者は3コースに分かれてパレード。大私教からも多数の参加がありました。

府内あるいは府外から集まった2万5千人の参加者は、「戦争法案 今すぐ廃案」のコールに合わせていっせいにプラカードを掲げました。赤地のプラカードには黄色の文字で「戦争あかん！」。集会では、憲法学者、大学院生、教育関係者、宗教者、国会議員などさまざまな人々がスピーチしました。それぞれが今回の安保法制（戦争法案）に対する反対意見を表明し、廃案に向けて全力を尽くすとの決意を表明するものでした。パレードでは「戦争法案 絶対反対」「戦争法案 絶対廃案」「アベ政権は 今すぐ退陣」のコールが大阪の繁華街に響きました。大私教の隊列では、S高校のNさんが、元気いっぱいコールをリードしました。

法案が憲法に違反することが明らかになり、また、立法事実さえもが否定されるなかで、安倍内閣は強行の姿勢を崩していません。「教え子を再び戦場に送らない」との誓いを新たに、今後とも法案の廃案に向けて取り組んでいきましょう。